

\*\*\*\*\* 社会学研究法 a 最終課題 \*\*\*\*\*

### 論題

「授業で取り上げた分析技法のいずれかを用いて、授業中に提示したデータを自由な視点から分析し、結果について論じなさい。」

### 詳細

「大阪の大学生の生活・意識に関する比較調査」または「学生の恋愛観に関する調査」  
「JGSS-2000」のデータを使用する（※望むなら他の授業等で扱っているデータでもよい。ただし、レポートの中できちんと調査の説明をすること [いつ、どこで、誰が集めたどういう調査か]）

回帰分析、クラスター分析、因子分析のいずれかで分析

分析の目的は完全に自由

「目的」「方法」「結果」「考察」を分けて書く

### 形式

A4 用紙

2000 字以上（図表は使用スペース相当で字数換算）

レポートの常識は守る（表紙を付ける、ホッチキスで留める、ページ番号を付ける等）

提出日：7月26日（金）10:00～17:00、7月27日（土）10:00～18:00

提出場所：教務センター（第2学舎1号館1階）

※それ以降も 8/2(金) 17時まではメールで特別に受け取る。ただし、やや減点。  
⇒ tyasuda@zf7.so-net.ne.jp あてに Word ファイルの添付メールで提出。  
折り返し保田からメールを出す（48時間以内に返信がない場合、受理していないので注意）

### データについて

「大阪の大学生の生活・意識に関する比較調査」

- ・ 2008年9～12月に実施
- ・ 大阪商業大学 社会調査研究会が調査主体
- ・ 大阪の4大学（大阪商業大学、大阪産業大学、近畿大学、大阪大学）の学生が対象
- ・ 各大学で1、2個の授業を用いて配布・回収の集合調査
- ・ 回収標本347人（集合調査のため回収率は算出できない）
- ・ データは通常の分析に適するようにリコーディングをほどこしている

「学生の恋愛観に関する調査」

- ・ 2014年6月に実施
- ・ 関西大学社会学部 保田ゼミ2期生が調査主体
- ・ 関西大学と大阪大学の学生が対象
- ・ 計量社会学I、卒業研究、統計学A-Iの授業を用いて配布・回収の集合調査
- ・ 回収標本188人（集合調査のため回収率は算出できない）

「JGSS-2000」

- ・ 2000年10～11月に実施
- ・ 大阪商業大学が調査主体
- ・ 層化2段無作為抽出された全国の20～89歳の男女が対象
- ・ 面接調査票と留置調査票の両方に回答してもらう形で訪問調査
- ・ 回収標本2893人（回収率64.9%）